令和３年３月１５日

# 院内倫理委員会（迅速審査）議事録

院内委員：　三田副院長、白阪臨床研究センター長（副委員長）、渋谷統括診療部長、西本看護部長、山内薬剤部長、新田事務部長

１）議　　題：200「遺伝子学的検査を用いた遺伝性腫瘍の診断と個別化医療の実施（生殖細胞系列の単一遺伝子、マルチ遺伝子パネル検査を含む遺伝学的検査：保険診療外検査」

実施責任者　乳腺外科／がんセンター遺伝診療センター　増田慎三より、200　「遺伝子学的検査を用いた遺伝性腫瘍の診断と個別化医療の実施（生殖細胞系列の単一遺伝子、マルチ遺伝子パネル検査を含む遺伝学的検査：保険診療外検査」について申請があった。

我が国において遺伝性腫瘍関連遺伝子の遺伝学的検査で保険収載されているのは数種類に限られているが、米国ではマルチ遺伝子パネル検査がすでに主流となっている。日本でも早急に患者や未発症の血縁者に対し適切な医療情報の提供ができる体制を整備し、治療法の選択や二次がん予防にいかす必要がある。

本検査は保険診療適応外検査であり、個人および家族の健康情報の取り扱いには慎重を要すること、また体制整備を急ぐことから、持ち回りにて審査を行った。

その結果、委員全員より承認との回答を得たので、倫理委員会として「承認」の結論とする。

倫理委員会

委員長　三田　英治